

2018 年 9 月 9 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 6 戦オートポリス、Audi R8 LMS が 13 位完走

● Audi Team Hitotsuyama は予選 11 位、決勝 13 位で完走を果たす

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、Audi R8 LMS で 2019 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー（プライベート）チームをサポートしています。9 月 7 日（土）、9 月 8 日（日）、オートポリス（大分県 1 周 4,674m）で 2019 SUPER GT 第 6 戦となる「AUTOPOLIS GT 300km Race」が開催されました。

今大会にも Audi R8 LMS を擁する #21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）が、レギュラードライバーのリチャード ライアン選手と富田 竜一郎選手のコンビにて参戦しました。オートポリスには、2 日間でのべ約 2 万 8000 人ものファンが訪れました。

晴天に恵まれた予選は、ドライコンディションでスタート。リチャード ライアン選手が Q1 を担当しました。トップからわずか 1.3 秒差に 16 台がひしめく大混戦の中、16 位に滑り込み予選 Q1 を突破。Q2 を担当した富田選手は Q1 よりもラップタイムをあげ、予選 11 位のポジションを獲得しました。

秋晴れのもと、午後 2 時 30 分に決勝レースがスタート。第 1 スティントはリチャード ライアン選手が担当。レース序盤からセーフティカーが導入されるなどレースは荒れ模様の展開に。リチャード ライアン選手はタイヤの摩耗に苦勞しながら 12 位を走行。レース中盤には、コースの一部に雨が降り出し、各チームともいつレインタイヤに履き替えればいいのか判断の難しい展開になりました。25 周目にピットインし、第 2 スティントの富田選手へとドライバー交代。ドライタイヤを選択してピットアウトしました。徐々に雨が強くなると、レインタイヤを履いたチームがペースを上げていきます。この状況のなか Audi Team Hitotsuyama は不運なペナルティもあって順位を大きく落としてしまいました。しかし、レース後半、雨がやみ路面が乾き始めるとドライタイヤで我慢していたチームが反撃に出ました。富田選手も一時は大きく落としたポジションを一気に挽回し、最後は 13 位でレースを終えました。

Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「オートポリスは阿蘇山の火山灰がコースに堆積する影響もあって、タイヤ選びが難しいのですが今回も練習走行から苦戦する展開となりました。予選はなんとか Q1 を突破し、富田選手の頑張りもあって 11 位に入ることができ、十分に戦える位置でのスタートになりました。決勝は事前に雨が予想されており、第一走のリチャード ライアン選手をできるだけ長く走らせたかったのですが、タイヤが厳しいということで本降りになる前にドライバー交代をしました。富田選手もドライタイヤでコースに戻し我慢の展開となりましたが、最終的に戦略としては悪くなかったと思っています。次の菅生は Audi R8 と相性の良いコースでもあり、表彰台を狙っていいレースを見せたいと思います」

アウディ ジャパンは Audi Sport customer racing パーツトレーラーを現地に配備して、SUPER GT に参戦するチームを支援しています。専用のトレーラーにボディ、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、約 10,000 点もの部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるようチームと共に全国のサーキットを転戦します。SUPER GT ならびにスーパー耐久シリーズへの参戦チームのサポートを通じて、アウディのサブブランドである Audi Sport のブランド認知の向上、イメージの強化をはかります。

SUPER GT 第 7 戦は、9 月 21 日（土）～22 日（日）、宮城県スポーツランド SUGO にて開催予定です。